

高橋商会のリサイクル学ぶ

釧路あすなろクラブが例会



中小企業経営者らの異業種 交流を目的とした経済研修団

大型機械の作業に感嘆

体、釧路あすなろクラブ(齊藤政行会長)は14日、使用済み自動車の完全リサイクルを手掛けている高橋商会(釧路町若葉2、高橋敏代表取締役)で5月例会を開き、同社が誇る再資源化の技術について理解を深めた。

同クラブは毎年、年間テーマを定め、それに沿った例会活動を展開。今年は一創る・つなぐ・釧路の未来として、地域づくりや産業づくり、文化づくり、人づくりなどを研修している。5月例会では国内有数の自動車リサイクルシステムを通じ、地球環境問題について学んだ。

この日は会員24人が出席。高橋社長が会社の概要を説明……
高橋商会の工場を見学し、自動車リサイクルの流れを学ぶ会員

し、同社には数にして2万台、車の台数にして3000台分の自動車部品があることや新たに始めたカーリースの紹介、年間3000人の見学があることなどを話した。

その後、会員はグループに分かれ工場を視察。自動車を解体する大型機械やプレス機、タイヤを粉砕する機械などが実際に作業している様子を見学し、普段なかなか見られない光景に感嘆の声を上げていた。

(道永竜命)